

地域産業の人材確保に向けて

令和8年2月9日

北海道開発局 釧路開発建設部

地域連携課長 井川 大輔

北海道総合開発計画は、北海道の資源・特性を活かして
我が国が直面する課題の解決に貢献するとともに、地域の活力ある発展
を図るため、国が策定(閣議決定)する計画です。

| 1951 第1次 | 1957 第2次 | 1962 第2期 | 1970 第3期 | 1978 第4期 | 1988 第5期 | 1998 第6期 | 2008 第7期 | 2016 第8期 | 2024 第9期 |
|-------------|-------------|--|---|--|---|------------------------------|--|---|---|
| 資源 開発 | 産業 振興 | 産業構造の 高度化 | 高生産・高福祉 社会の建設 | 安定性のある総 合環境の形成 | 我が国の長期的 発展への貢献・ 力強い北海道の 形成 | 北海道の自立、 恵まれた環境・ 資源の継承等 | 開かれた競争力 ある北海道、持 続可能で美しい 北海道の実現等 | 農林水産業、観 光等を担う「生 産空間」の維持 | 食料安全保障、 観光立国、ゼロ カーボン北海道 の実現、生産空 間の維持・発展 |
| — | — | 拠点開発の推進 | 先導的開発事業 の推進、中核都 市圏の整備と広 域生活圏の形成 | 地域総合環境圏 の展開 | 重層ネットワー ク構造の形成と 都市田園複合コ ミュニティの展 開 | 地域の創意と工 夫、適切な支援 | 多様な連携・協 働、新たな北海 道イニシアティ ブの発揮等 | 産学官民金連携 による重層的な プラットフォーム の形成、「北海道 イニシアティブ」 の推進、戦略的 な社会資本整備 等 | 多様な主体によ る「共創」等 |
| 600 万人 | 550 万人 | 586万人 | 600万人 | 620万人 | 620万人 | 580万人 | — | — | — |
| — | 7.1% | 8.8% | 9.6% | 7.0% | 4.25% | おおむね全国と 同程度 | — | — | — |
| 4,335 億円 | 6,600 億円 | 3.3兆円 行政投資0.94 兆円、 政府企業、民間 企業等投資 2.36兆円 | 20.75兆円 行政投資8.55 兆円、 民間企業等投資 12.2兆円 | 47.1兆円 行政投資18.1 兆円、 民間企業等投資 29兆円 | 60兆円程度 内広義の国土基 盤投資40兆円 程度 | — | — | — | — |

近年の社会環境の変化

| | | | |
|-------|--------------|---|------------|
| 2022年 | ロシアのウクライナ侵攻 | ⇒ | 食料安全保障問題 |
| 2020年 | 新型コロナウイルス感染症 | ⇒ | 観光・日本経済の回復 |
| 2020年 | カーボンニュートラル宣言 | ⇒ | 再生可能エネルギー |

北海道のポテンシャル

高い 食料供給力

- 全国約24%の食料生産(カロリーベース)
- 生産量全国一の農畜産物・水産物
小麦、ばれいしょ、たまねぎ、生乳等
ホタテ、タラ、サケ・マス、ホッケ等

魅力的な 観光資源

- 来道外国人旅行者数164万人増
(感染症拡大前の直近5年間で
137万人から301万人に)
- 都道府県魅力度 15年連続全国一

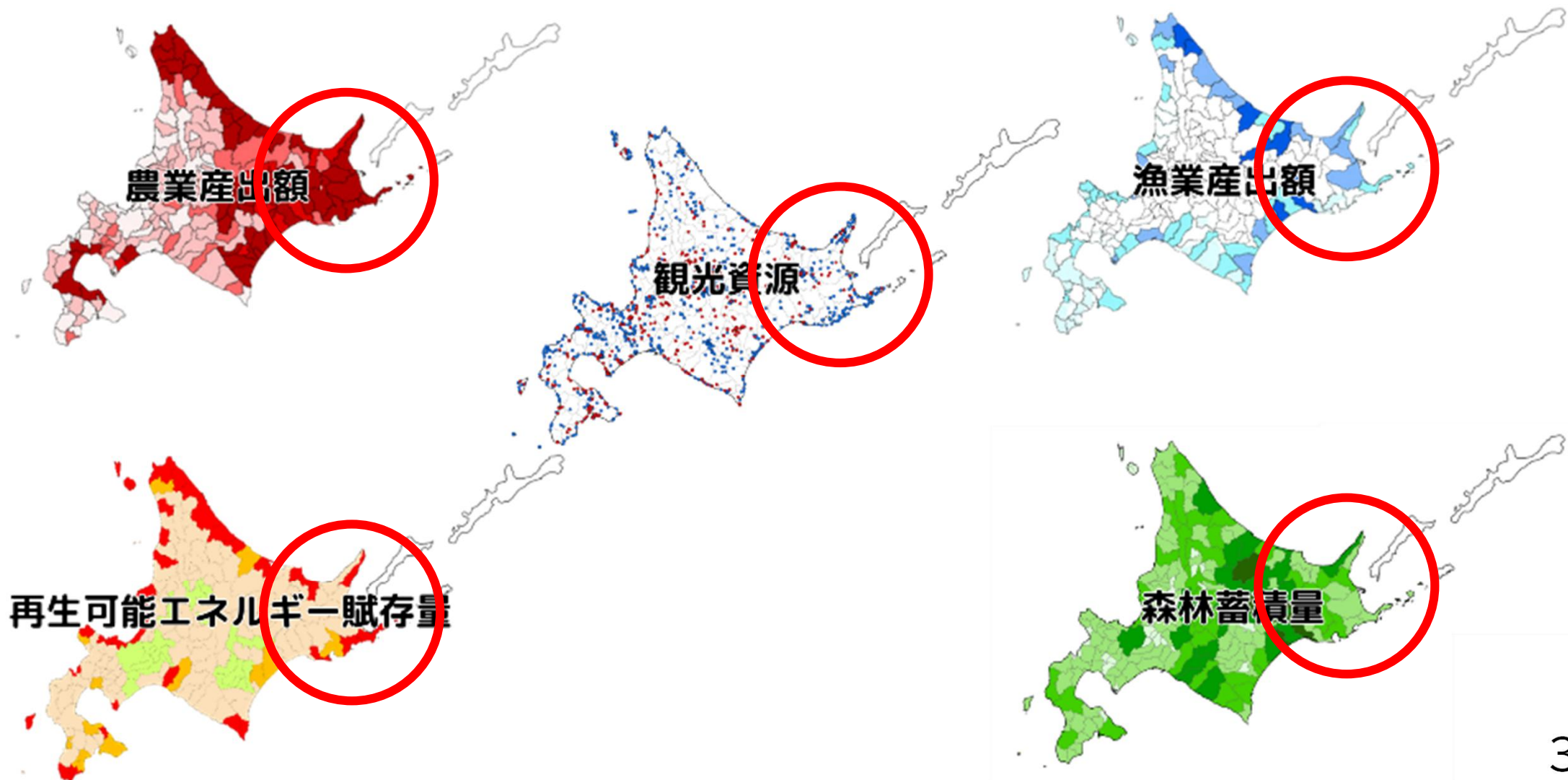
豊富な エネルギー・資源

- 全国一の再生可能エネルギー賦存量
洋上風力、陸上風力、太陽光、
バイオマス、中小水力
- 高いCO₂吸収力
全国の森林面積の約22%

食料安全保障、観光立国の再興、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて
「他で代替できない北海道の価値」を最大化し、現下の国の課題解決を先導します。

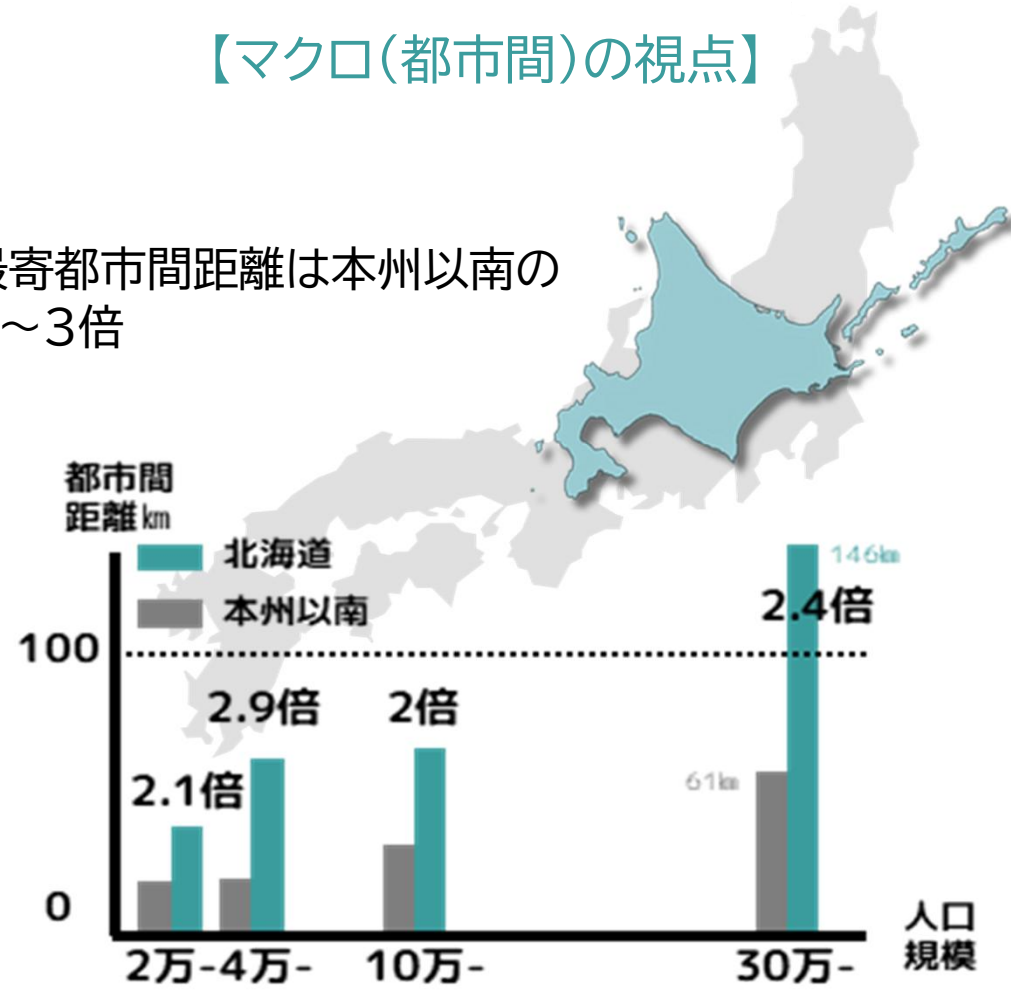
高い食料供給力、魅力的な観光資源、豊富な再生可能エネルギーなどの、北海道の価値を生み出す地域「生産空間」は主に地方部に存在しています。

●北海道の価値を生む「生産空間」の分布



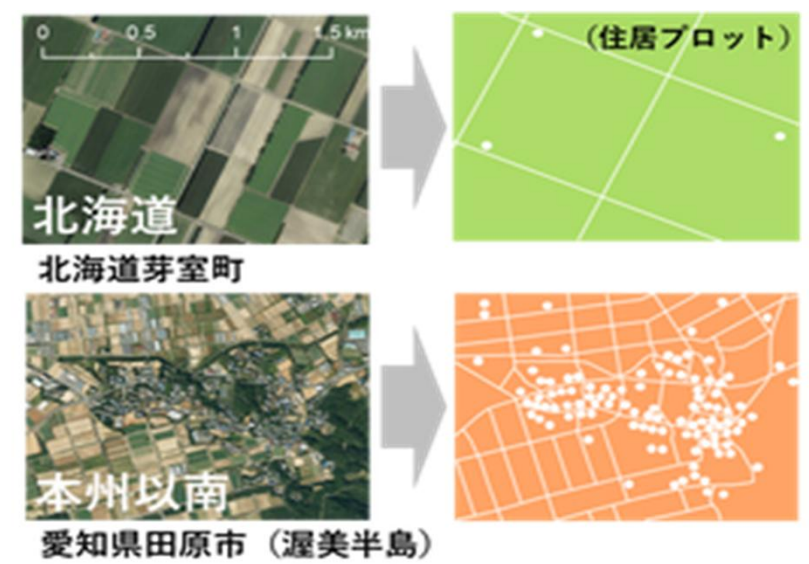
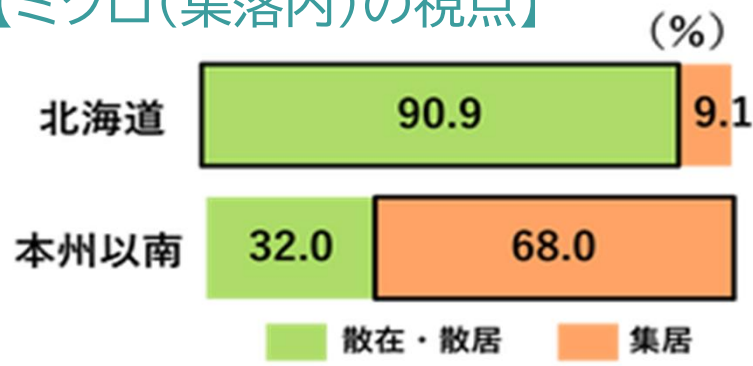
【マクロ(都市間)の視点】

最寄都市間距離は本州以南の2～3倍



【ミクロ(集落内)の視点】

集落内居住は
散在・散居形態
が9割



人口減少が進む中で定住環境を維持するには、時間・距離を縮める**ネットワークの強化とデジタル技術の活用**が必要です。さらに、積雪寒冷の厳しい気候、激甚化・頻発化する自然災害、海溝型地震への対応として**国土強靱化**を急ぐ必要があります。

計画の目標

計画期間：2024年度からおおむね10年間

近年の社会環境の変化、北海道のポテンシャル等を踏まえ2050年の長期を見据えて、北海道開発を効果的に進めていきます。

目標1

「我が国の豊かな暮らしを支える北海道
～食料安全保障、観光立国、ゼロカーボン北海道」

目標2

「北海道の価値を生み出す北海道型地域構造
～生産空間の維持・発展と強靱な国土づくり」

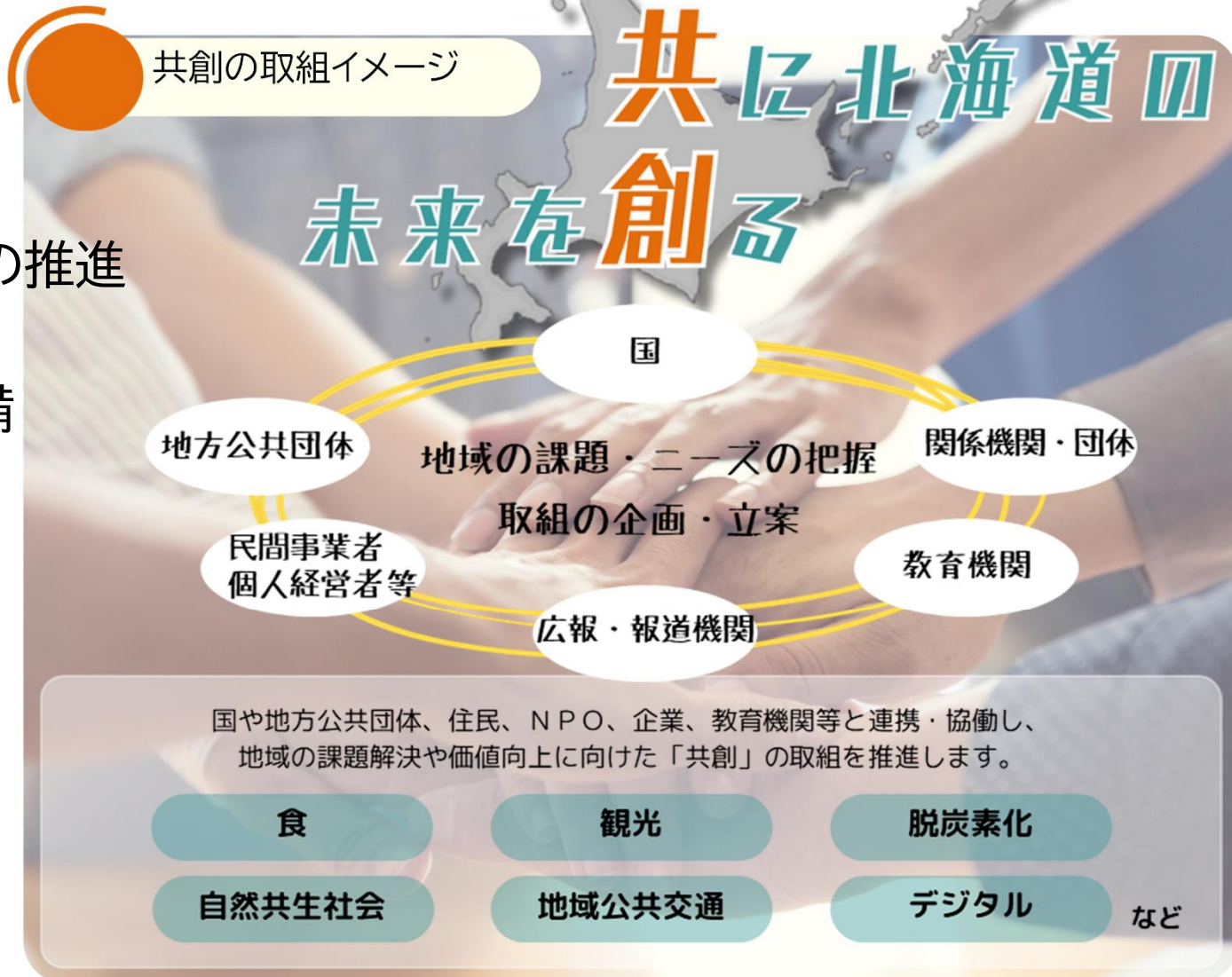
○ 計画の実効性を高めるための方策

官民の垣根を越えた「共創」

フロンティア精神の再発揮

社会変革の鍵となるDX・GXの推進

戦略的・計画的な社会資本整備



釧根地域の産業の人材確保を推進



地域経済活性化により釧根地域＝生産空間が維持・発展



釧根地域＝生産空間がポテンシャルを最大限発揮

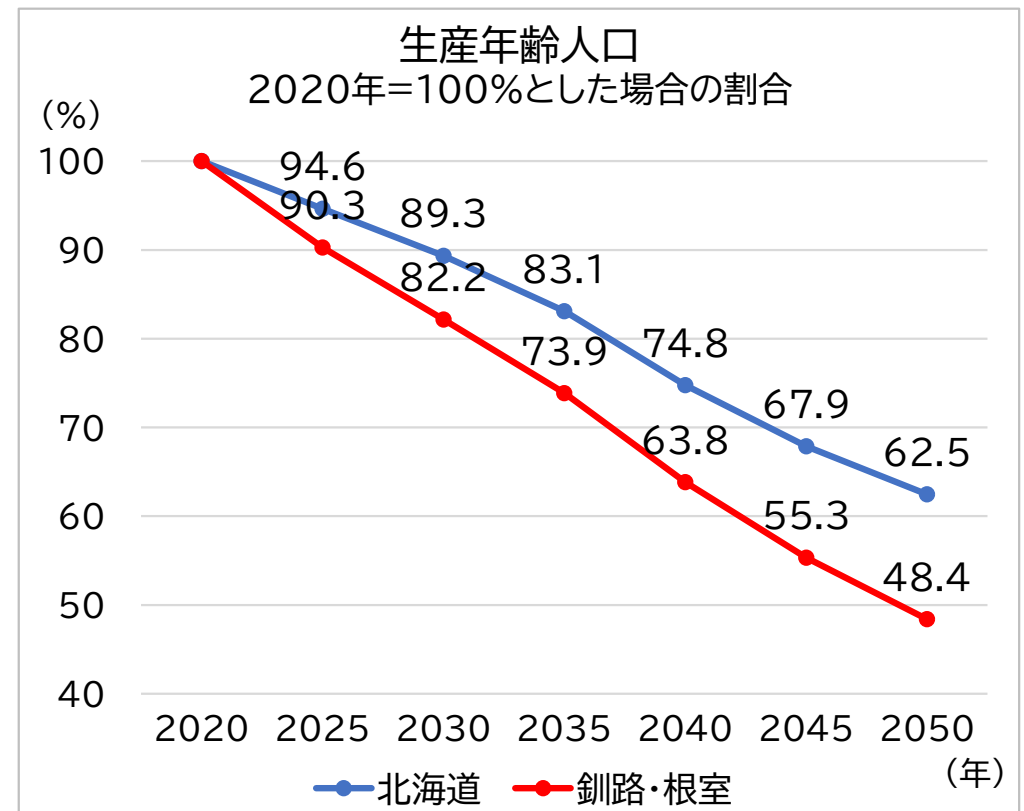
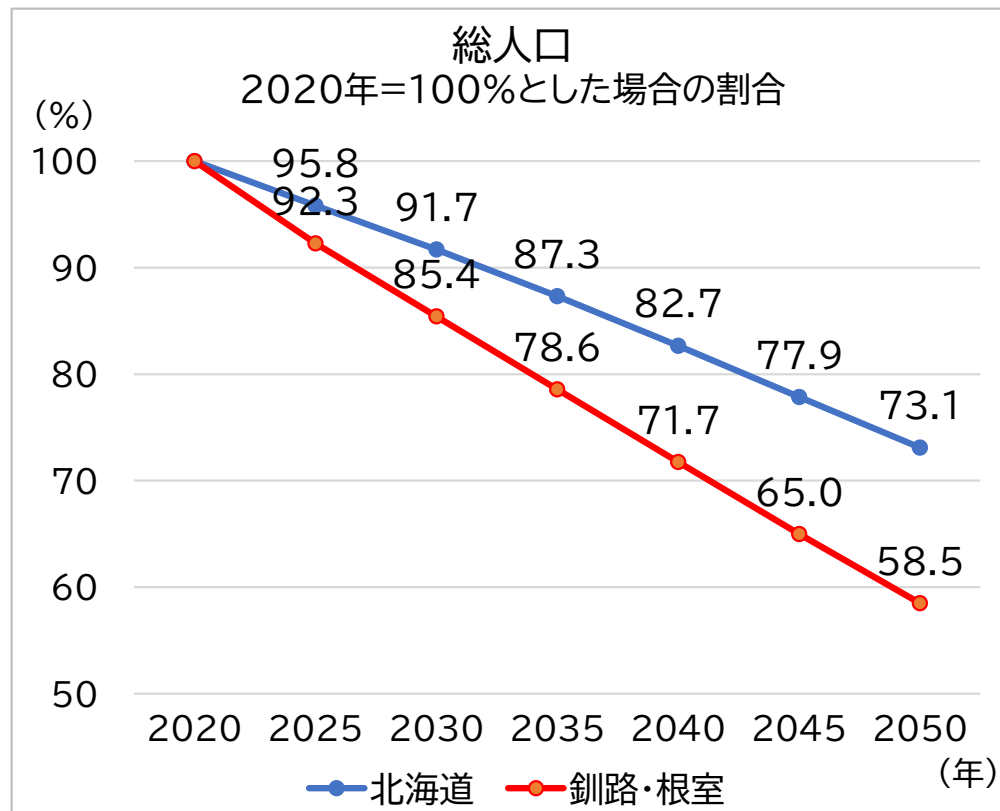


釧根地域が我が国の課題解決に貢献！

地域の現状と課題

生産空間の維持・発展には、そこに人が「住み続ける」ことが必要ですが、

- 地域の方々から、**建設業の人手不足が深刻化**し、将来の災害対応や除雪対応等への影響を懸念しているとの意見
- 地元企業等からは、運輸業等でも人手不足が深刻という意見があり、**地域産業の多くが人手不足**となっています



管内の建設、観光、運輸関係者からヒアリング

人材確保に向けて、外国人労働者の活用やDXの推進等の取組に加えて、他に何か考えられないか検討するため、管内関係者からヒアリング



免許や経験が無くても、やる気のある人に来て欲しい



ガイド業のみで生活できる人は少数で、兼業している人が多い



観光バス運転手は、閑散期の冬に沖縄へ出稼ぎに行っている



他業種との兼業でも構わないが、雇用形態をどうしたら良いか分からない

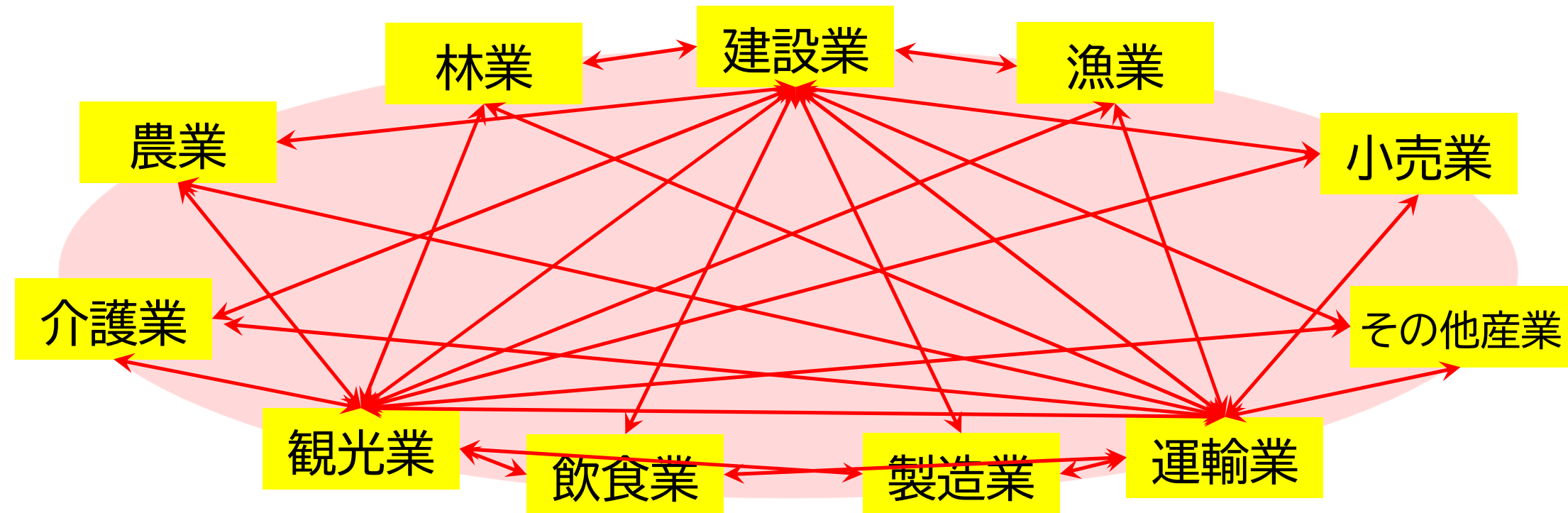


異業種の企業を集めて、人材確保に向けたマッチングの機会を作ってほしい



長期的な解決策は、地域の人材をいかに活用するか

地域産業間の連携による多様な働き方、地域内外の人材活用を検討



運輸業等



建設業(除雪オペレーター等)

- 副業・兼業等により産業間で人材を補完し、持続的な人材確保を実現
- 地域産業間の交流促進による地域経済活性化

- 各種イベント等における建設業を始めとする地域産業の魅力PR
- 地域の企業や働き手に向けたセミナーの実施等により、人材確保に関する各取組を情報共有
- 地元教育機関へのフィールド提供等を通じた教育支援 等

これらについて、関係機関による**釧根人材確保共創チーム**を結成し、検討を開始

また、釧路・根室地域雇用ネットワーク会議等とも連携

地域雇用ネットワーク会議

(事務局)
釧路総合振興局、根室振興局
(構成員)
釧路・根室公共職業安定所
釧路労働基準監督署
釧路・根室教育局
管内市町村
管内商工会議所・商工会 等

就業支援、人材定着支援、企業説明会支援、キャリア
カウンセリング、労働相談支援、多様な働き方の就労
相談支援 等

連携

地域へ定着促進

- ・業種を超えた協業
- ・人材確保ノウハウ提供
- ・多様な働き方への支援
- ・若者の地域就職支援
- ・雇用のミスマッチ防止 等

管内小・中・高等学校・大学

インターン、現場見学会、運転体験会、企業説明会、
出前講座 等

釧根人材確保共創チーム

(事務局)
釧路開発建設部
(構成員)
釧路運輸支局
釧路総合振興局、根室振興局
(一社)釧路建設業協会
釧根地区バス協会
釧根地区ハイヤー協会
(一社)釧根地区トラック協会
釧路港運協会、道東倉庫協会
釧路観光連盟、知床ねむろ観光連盟

インターン、現場見学会、運転体験会、
企業説明会、出前講座、多様な働き方の検討・提示、
移住・定住支援 等

本日のセミナーは、共創チームによる取組のキックオフ

- 産業間連携の促進
- 人材確保の取組の情報共有
- 釧根地域で働く魅力を地域内外にPR

人口減少時代における
持続可能な人材確保の実現